

NEWS, TOPICS, INFORMATION, OPINION & EDITORIAL



全日本刀匠会が創立五十周年を迎え、行事相次ぐ

全日本刀匠会(宮入小左衛門行平会長)はこのほど創立五十周年を迎え、これに関連してさまざまなイベントが開催された。

大阪歴史博物館では、四月四日から五月二十六日まで特別展「全日本刀匠会50周年記念―日本刀二〇〇〇年の軌跡―」を開催、関連行事として記念座談会二〇〇〇年の伝統を伝える―刀匠が語る日本刀の魅力―が四月十九日に、現代刀鑑賞会が同二十日に開かれ、ほかに刀匠によるギャラリートークや、ワークショップ「刀匠といっしょにくろろろ!新聞紙でつくる日本刀」「木炭のチカラ体験会―炭で金属をみがこう!―」などが催され、世代を超える多数の来場者を迎え、大いに賑わった。

の伝統を今に伝える、⑤エピソード 未来への継承へと展開合わせて六十振が披露された。

座談会には月山貞利・三上貞直・宮入の歴代会長のほか、現副会長の宗昌親・久保善博の二刀匠がパネリストとして参加、コーディネーターを坪内哲哉刀匠が、司会を当館の内藤直子学芸課長代理が務めた。



昭和49年9月、天田昭次鍛刀所で開催された第4回自家製鋼研究会において全日本刀匠会の結成が決議され、同会は翌年4月に創設された

約百五十名を集めて和やかな雰囲気の下、盛大に開催された。(P4に関連記事)

2025.4.15 No.72

発行人 深海 信彦
発行所 全国刀剣商業協同組合 編集委員会
〒169-0072 東京都新宿区大久保2-18-10
新宿スカイプラザ1302
TEL:03(3205)0601 FAX:03(3205)0089
https://www.toukenkumiai.com/

第72号編集担当 赤荻 稔 飯田 慶雄
伊波 賢一 大平 岳子 嶋田 伸夫 清水 儀孝
生野 正 新堀 孝道 瀬下 明 土子 民夫
網取 謙一 土肥 豊久 服部 暁治 深海 信彦
松本 義行 冥賀 吉也 持田 具宏 吉井 唯夫

『やさしいかたな』 全面改訂版が間もなく発刊

かねて刊行が待たれていた『やさしいかたな』の第4版が全面改訂となって、間もなく登場する。今版は、刀剣をテーマに活躍される漫画家かまたきみこ氏の協力を得て、カラー表紙や「マンガで知る刀の発見から登録まで」などを新たに収録、親しみながら理解が得られる内容となっている。組合員・賛助会員の皆さんには発刊となり次第、送付される。問い合わせ・申し込みは事務局まで。

(本書「前書き」より)

刀は今、国民の文化財として大切に保存されています。その所持は、「銃砲刀剣類所持等取締法」(略称「銃刀法」)によって銃砲とともに一括して規制されています。そのために、所持許可の条件が厳しい猟銃や、一般人が持つこと自体が禁止されている拳銃などの武器と混同、誤解されているきらいがあります。しかし、刀は登録審査によって美術的価値が確認されればどなたでも所持できるのです。

登録を受けた刀であっても、所有者変更の際の届け出の義務や、所持に関しても変装刀剣類(例えば仕込み杖)の禁止、むやみな携帯に関する規制など、守らなければならないことはいろいろありますが、刀=所持禁止ではないのです。

そのあたりのことを知っていただきたく、『やさしいかたな』を作成しました。紙数の都合ですべてを網羅することはできませんが、これから刀を持つとする人にとって、必要かつ十分な情報をわかりやすくご紹介します。

わが国の長い歴史の中で大切に守られてきた文化財であり、美術品である刀を正しく後世に伝えていくことは、現代に生きる私たちの使命でもあります。本書が、これから刀を所持する皆さまの道しるべとなることを願っています。



「日本刀1000年の軌跡」会場風景



祝賀会において(株)プロテリアルへの感謝状を贈呈する宮入会長



座談会の会場となった大阪歴史博物館講堂

刀剣・小道具・甲冑武具
飯田高遠堂
代表取締役 飯田 慶雄
〒161-0033 東京都新宿区下落合3-17-33
TEL 03-3951-3312
FAX 03-3951-3615
http://www.iidakoendo.com

アオバ企画(株)
高橋 一
墨田区大平四一九二一三〇八
TEL 〇三三三六二二二二二
FAX 〇三三三六二二二二二
メール aobakk@pj8.sone-net.jp

江戸屋
名品・名刀を販売
店主 小暮 昇一
〒529-1131 滋賀県愛知郡愛荘町香掛80-1
TEL 0749-142127
携帯 090-13162176
http://www.goushuya-nihontou.com

田中勝憲
古銭・切手・刀剣 売買 評価 鑑定
(株)城南堂古美術店
代表
〒153-10051 東京都目黒区上目黒四一三一〇
TEL 〇三三七一〇一六七七六
FAX 〇三三七一〇一六七七七

刀買取委託
e-sword
〒350-1115 埼玉県川越市野田町1-4-19 1F
TEL 049-246-6622 FAX 049-246-1407
www.e-sword.jp
日本刀 イーソード 検索
mail:info@e-sword.jp
(株) e-sword 平子誠之

「刀剣・和鉄文化を保存振興する議員連盟」の総会が開催される

今年度第一回の総会は、去る三月十一日、参議院議員会館にて開催されました。

出席者は、衆参両院議員十五名、文化庁から文化財第一課長他三名、日本美術刀剣保存協会からは会長他四名、日本刀文化振興協会からは事務局局長他一名、全日本刀匠会からは会長他一名、刀剣商組合からは理事長他一名、計二十九名でした。

今回は文化庁より刀剣・和鉄文化の保存振興に関する予算案に関する件と、「合同公募展」開催準備についての説明を中心に、議員連盟会長の鈴木俊一自民党総務会長および山田賢司衆議院議員による刀剣の輸出入と外国人刀剣愛好家への文化庁の取り組みなどについて説明と質疑があり、さらには現代刀匠の重要無形文化財保持者が一人もいない現状などについての議論も活発に行われ、常になく充実した総会になりました。

特に、文化庁の刀剣関係に対する理解と支援の進展が、出席者全員の共感を呼んだように見受けられました。総会の後半に、司会の議員連盟事務局長の山田宏参



刀剣の振興について見解を述べる鈴木俊一会長(右)と山田宏事務局長



総会後の名刀鑑賞会風景。刀を手にする逢沢一郎幹事長(左)と山田賢司幹事

議院議員より、海外の刀剣愛好家の動向について当組合理事長が発言を求められました。理事長の発言のあらましは以下の通りです。

ご指名いただきました刀剣商組合の深海信彦です。議員連盟の鈴木会長におかれましては、刀剣の海外への輸出および輸入に関する件にまで重大な関心をお寄せいただき、感謝申し上げます。また、山田賢司議員は先ほど、海外の方の刀剣への関心に対する文化庁の取り組みにつきまして質問されておりましたが、誠にその通りでありまして、今や和鉄文化を代表する刀剣は、わが国だけのものではなく、その国際流通性につきま

しては文化庁、財務省、経産省のご協力とご理解の下、今後世界に向けて文化の発信をしていかなければならない段階に来ております。幸い、先ほど鈴木会長より、その点については我々議員連盟が各省庁間との調整の役割を果さねば、というありがたいご発言もあり、心強い限りであります。我が国の鉄文化は我が国以上に外国人の関心が高く、むしろ刀剣だけ

に限って言えば外国人の方が堂々と称賛しているようにさえ思えるのです。そして、古来「鉄を制するものは」の例えの通り、鉄・刃物は各国とも国の基幹であり誇りでもあります。

私は明治新政府の伊藤博文・桂太郎両総理大臣の軍装品を長州の縁で調査する機会に恵まれましたが、両総理とも大礼服着用の際の儀仗用の剣、ならびに最高司令官の指揮刀は、いずれもドイツのゾーリンゲンの刻印があるものでした。国交に当たり、ドイツの最も誇りとする産業や歴史を我が国に知らしめたものでしょうか。イギリスも刃物に関してには相当に誇りを持っておりまして、少し古い話ですが、チャールズ当時皇太子とダイアナさんの結婚式の引き出物の一つはシェフィールド製の刀でした。私は長く預かっていたのですが、世界各国の限られた要人に対するものだけに、外装は七宝や宝石が散りばめられた豪華なもので、中身は鍛造されてい

ないかと思えます。刀剣保存協会が運営する刀剣博物館の年間入場者数は約五万六千人ですが、そのうち約三八％の二万一千人は外国人です。五年間で十万人以上の外国人が刀を見に来ているのです。中でもアメリカ人の占める割合はとて大きいと思えますが、自国に帰って製鉄の歴史を紐解いてみて、あらためて日本の鉄の文化の素晴らしさを見直すのではないのでしょうか。

ここに議員連盟の幹事長を務めておられる逢沢一郎先生がいらっしゃいます。先生のご地元備前長船は日本一、世界一の名刀の産地でありまして、刃物の産出量という点で我が国では関となっておりまして、ちなみに、USスチールに代表されるアメリカの製鉄の歴史は独立戦争前からはいえ、一七世紀後半からです。そういう意味からでも我が国の鉄文化はもっと誇りに思ってもよろしいのではないかと思えます。

その方が亡くなり遺族の方が警察に提出した場合は、それを第三者が所持できないよう溶鉱炉に入れてしまおうのでしょうか。それはあまりにも勿体無いしイギリス王室に対しても失礼なことでは。こういったものを保存する何らかの方法を、文化庁も他省庁と協議してほしいものです。

今申し上げたゾーリンゲンとシェフィールドと並んで世界三大刃物の生産地は、岐阜県の関です。ゾーリンゲンは一三世紀、シェフィールドは一四世紀頃からですから、関はその頃は南北朝の志津一門が既に栄えておりまして、その後一五、六世紀には関物の作刀全盛期でした。

し、そして文化庁の刀剣に対するご理解を一般の人に認知していただく使命を持って最前線に立っているのが我々刀剣商です。

国や議員連盟の先生方が支援や施策を講じてくださることが、国民に正しく伝わらないことには意味がありません。我々刀剣商は、微力ではありますが、刀剣・和鉄文化の普及と保存の振興に寄与できるよう努力をしてみたいと思っております。どうか全国刀剣商業協同組合にもご理解とご支援をお願い申し上げます。

以上のような内容でした。総会の議事終了後、刀剣保存協会が用意した名刀が会場内に展示されました。①安綱太刀、②金象嵌銘助真刀、③村正刀、④兼元(孫六)刀、⑤津田越前守助広延宝九年八月日刀、の五振で、議員連盟の方々は、協会職員の説明に熱心に耳を傾けながら、名刀鑑賞の時間を過ごされました。

組合こよみ (令和7年1～3月)

- 1月16日 東京美術倶楽部において理事会を開催。出席者、深海理事長・伊波副理事長・土肥副理事長・服部副理事長・清水専務理事・嶋田常務理事・綱取常務理事・飯田理事・大平理事・生野理事・新堀理事・瀬下理事・松本理事・眞賀理事・吉井理事
- 24日 新橋プラザビルにおいて『やさしいかたな』『刀剣界』(第71号校正)編集委員会を開催
- 27日 深海理事長・服部副理事長・清水専務理事が日本美術刀剣保存協会を訪問、刀剣評価査定をする
- 27日 組合事務所において服部副理事長と清水専務理事が刀剣評価査定
- 2月12日 東京美術倶楽部において『やさしいかたな』『刀剣界』(第71号校正)編集委員会を開催
- 14日 組合事務所において綱取常務理事・松本理事が刀剣評価査定
- 17日 飯田理事・大平理事が新宿区に出張、刀剣評価査定をする
- 25日 土肥副理事長・綱取常務理事が産経新聞社を訪問、明美ちゃん基金に寄託する
- 28日 プレスセンターにおいて深海理事長・服部副理事長・清水専務理事・嶋田常務理事が産経新聞メディア局長と会談
- 3月6日 組合事務所において服部副理事長が刀剣評価査定
- 12日 『やさしいかたな』編集委員会を開催。出席者、深海理事長・伊波副理事長・土肥副理事長・清水専務理事・嶋田常務理事・赤荻理事・生野理事・持田理事・かまたきみこ氏・土子民夫氏
- 17日 組合事務所において深海理事長が刀剣評価査定

刀剣 高吉
古名刀から現代刀、御刀のことならお任せください!
連絡先 090-8845-2222
代表者 高島吉童
東京都北区滝野川7-16-6
TEL 03-5394-1118
FAX 03-5394-1116
www.premi.co.jp

日本刀・刀装具 販売・買取
創業 38年
株式会社 美術刀剣 松本
代表取締役 松本義行
Tel.03-6456-0889
東京西葛西店/東京都江戸川区西葛西6丁目13-14丸清ビル3F
刀剣松本 1000

銀座日本刀ミュージアム 泰文堂
〒104-0061 東京都中央区銀座6-7-16 岩月ビル2階
(株)銀座泰文堂 代表 川島貴敏
TEL 03-3289-1366
FAX 03-3289-1367
<http://www.taibundo.com>

美術日本刀・鐔・小道具・甲冑
日本の伝統文化を彩る
JAPAN SWORD CO., LTD.
(株) 日本刀剣
伊波賢一 Ken-ichi Inami
〒105-0001 東京都港区虎ノ門3-8-1
TEL 03-3434-4321
FAX 03-3434-4324

大阪刀剣会 吉井唯夫
大阪市中央区日本橋二丁目一
TEL 〇六-六六三-一三二一
FAX 〇六-六六四-一五四六
美術刀剣、小道具、武具類の
売買、加工及び御相談承ります

「刀剣・和鉄文化を保存振興する議員連盟」の皆さん

Table with columns: 議連役員, 氏名, 事務所. Lists members of the 'Sword and Japanese Iron Culture Preservation and Revival' alliance, including representatives like Takamura Masahiko and members like Shimizu Ichiro.

<代表電話> 衆議院第一・第二議員会館 03-3581-5111 参議院議員会館 03-3581-3111 自由民主党 03-3581-6211

高村 正彦 (Takamura Masahiko) profile: 衆議院議員, 選挙区: 岩手県第2区, 当選回数: 12回.

鈴木 俊一 (Suzuki Shunichi) profile: 衆議院議員, 選挙区: 岩手県第2区, 当選回数: 11回.

逢沢 一郎 (Aizawa Ichiro) profile: 衆議院議員, 選挙区: 岡山県第1区, 当選回数: 13回.

井出 庸生 (Iide Yuuji) profile: 衆議院議員, 選挙区: 長野県第3区, 当選回数: 5回.

工藤 彰三 (Iwamoto Akimasa) profile: 衆議院議員, 選挙区: 愛知県第4区, 当選回数: 5回.

高村 正大 (Takamura Masahiro) profile: 衆議院議員, 選挙区: 山口県第1区, 当選回数: 3回.

後藤 茂之 (Goto Shigenori) profile: 衆議院議員, 選挙区: 長野県第4区, 当選回数: 8回.

臣/国土交通政務官/党 人生100年時代戦略本部幹事長/党 長野県連会長

坂本 哲志 (Sakamoto Tetsushi) profile: 衆議院議員, 選挙区: 熊本県第3区, 当選回数: 8回.

佐々木 紀 (Sakazaki Nori) profile: 衆議院議員, 選挙区: 石川県第2区, 当選回数: 5回.

新藤 義孝 (Nishinaka Yoshitaka) profile: 衆議院議員, 選挙区: 埼玉県第2区, 当選回数: 9回.

新藤 義孝 (Nishinaka Yoshitaka) profile: 衆議院議員, 選挙区: 埼玉県第2区, 当選回数: 9回.

新藤 義孝 (Nishinaka Yoshitaka) profile: 衆議院議員, 選挙区: 埼玉県第2区, 当選回数: 9回.

新藤 義孝 (Nishinaka Yoshitaka) profile: 衆議院議員, 選挙区: 埼玉県第2区, 当選回数: 9回.

新藤 義孝 (Nishinaka Yoshitaka) profile: 衆議院議員, 選挙区: 埼玉県第2区, 当選回数: 9回.

新藤 義孝 (Nishinaka Yoshitaka) profile: 衆議院議員, 選挙区: 埼玉県第2区, 当選回数: 9回.

新藤 義孝 (Nishinaka Yoshitaka) profile: 衆議院議員, 選挙区: 埼玉県第2区, 当選回数: 9回.

新藤 義孝 (Nishinaka Yoshitaka) profile: 衆議院議員, 選挙区: 埼玉県第2区, 当選回数: 9回.

新藤 義孝 (Nishinaka Yoshitaka) profile: 衆議院議員, 選挙区: 埼玉県第2区, 当選回数: 9回.

衆議院議員 福田 達夫 (Fukuda Tatsuo) profile: 選挙区: 群馬県第4区, 当選回数: 5回.

衆議院議員 古川 康 (Furukawa Yasuhiro) profile: 選挙区: 佐賀県第2区, 当選回数: 4回.

衆議院議員 堀内 詔子 (Horiuchi Michiko) profile: 選挙区: 山梨県第2区, 当選回数: 5回.

衆議院議員 武藤 容治 (Muto Yuzo) profile: 選挙区: 岐阜県第3区, 当選回数: 6回.

衆議院議員 山田 賢司 (Yamada Kenji) profile: 選挙区: 兵庫県第7区, 当選回数: 5回.

衆議院議員 山田 賢司 (Yamada Kenji) profile: 選挙区: 兵庫県第7区, 当選回数: 5回.

衆議院議員 山田 賢司 (Yamada Kenji) profile: 選挙区: 兵庫県第7区, 当選回数: 5回.

衆議院議員 山田 賢司 (Yamada Kenji) profile: 選挙区: 兵庫県第7区, 当選回数: 5回.

衆議院議員 山田 賢司 (Yamada Kenji) profile: 選挙区: 兵庫県第7区, 当選回数: 5回.

衆議院議員 山田 賢司 (Yamada Kenji) profile: 選挙区: 兵庫県第7区, 当選回数: 5回.

衆議院議員 山田 賢司 (Yamada Kenji) profile: 選挙区: 兵庫県第7区, 当選回数: 5回.

衆議院議員 山田 賢司 (Yamada Kenji) profile: 選挙区: 兵庫県第7区, 当選回数: 5回.

衆議院議員 山田 賢司 (Yamada Kenji) profile: 選挙区: 兵庫県第7区, 当選回数: 5回.

衆議院議員 山田 賢司 (Yamada Kenji) profile: 選挙区: 兵庫県第7区, 当選回数: 5回.

衆議院議員 山田 賢司 (Yamada Kenji) profile: 選挙区: 兵庫県第7区, 当選回数: 5回.

衆議院議員 山田 賢司 (Yamada Kenji) profile: 選挙区: 兵庫県第7区, 当選回数: 5回.

参議院議員 小川 克己 (Ogawa Katsuyuki) profile: 選挙区: 比例代表, 当選回数: 2回.

参議院議員 北村 経夫 (Kitamura Tsunohito) profile: 選挙区: 山口県, 当選回数: 3回.

参議院議員 永井 学 (Nagai Manabu) profile: 選挙区: 山梨県, 当選回数: 1回.

参議院議員 野上 浩太郎 (Nojima Koutaro) profile: 選挙区: 富山県, 当選回数: 4回.

参議院議員 野上 浩太郎 (Nojima Koutaro) profile: 選挙区: 富山県, 当選回数: 4回.

参議院議員 野上 浩太郎 (Nojima Koutaro) profile: 選挙区: 富山県, 当選回数: 4回.

参議院議員 野上 浩太郎 (Nojima Koutaro) profile: 選挙区: 富山県, 当選回数: 4回.

参議院議員 野上 浩太郎 (Nojima Koutaro) profile: 選挙区: 富山県, 当選回数: 4回.

参議院議員 野上 浩太郎 (Nojima Koutaro) profile: 選挙区: 富山県, 当選回数: 4回.

参議院議員 野上 浩太郎 (Nojima Koutaro) profile: 選挙区: 富山県, 当選回数: 4回.

参議院議員 野上 浩太郎 (Nojima Koutaro) profile: 選挙区: 富山県, 当選回数: 4回.

参議院議員 野上 浩太郎 (Nojima Koutaro) profile: 選挙区: 富山県, 当選回数: 4回.

参議院議員 野上 浩太郎 (Nojima Koutaro) profile: 選挙区: 富山県, 当選回数: 4回.

参議院議員 野上 浩太郎 (Nojima Koutaro) profile: 選挙区: 富山県, 当選回数: 4回.

参議院議員 野上 浩太郎 (Nojima Koutaro) profile: 選挙区: 富山県, 当選回数: 4回.

参議院議員 野上 浩太郎 (Nojima Koutaro) profile: 選挙区: 富山県, 当選回数: 4回.

全日本刀匠会設立五十周年に寄せて

第八代会長 宮入小左衛門行平

全日本刀匠会が設立され、五十年を迎えることとなりました。会員諸氏の弛まない努力と、多くの皆様のご支援によって今日があるものと深く感謝いたしております。

五十年の節目を迎えるに当たり、初代会長でありました先代行平の設立前後の奔走ぶりに思いを馳せざるに得ません。事務作業のようなものが決して得意ではな

たら再興と刀匠会が口癖のようにわが家に飛び交っておりまして。上京の機会も多く、生活を支える母も既になく、心身の負担が相当であったと思われま

た。たたら再興の火入れ式の直後急逝したことを思い返すと、父は刀匠会とたたらに生命を捧げたとも言えます。

設立に奔走する姿を見ていた高校生だった私が今、会長であることへの巡り合わせに深い感慨を覚えます。大きな傘の下からの離脱や、

決して上からのお仕着せではない豊かな発想が、今後の全日本刀匠会の力となることを期待しております。

刀匠界の皆様方をはじめ、さまざまな機会に声援を送り続けてくださった方々には、引き続きのご後援をお願い申し上げます。

三月八日、お馴染みの鉄芸メンバーによるワークショップ「日本刀にまつわる職人体験」君も立派な職人」と講演、鑑賞会「日本刀の鑑賞法、国広一門の作品群を持つてみよう」が、あしががフラワーパークラザにおいて開催されました。

ワークショップでは市内の学生限定で募集した三十人を対象に、銘切り・研磨・鞘削りをそれぞれ刀匠・研師・鞘師の元で十人ずつのグループに別れ、各工程を体験してもらいました。

講師を務めたのは、刀匠の石田國壽・上島宗泰、研師の小川和比古・藤代龍哉・松村壮太郎・水田吉政・森井鐵太郎、鞘師の森井敦央の八人。参加者は中学生が八人、小学生が二十二人で、皆熱心に各工程をこなしていました。

体験後のアンケートでは印象に残ったこととして「銘切りが楽しかった」「自分の名前が刻めて嬉しい」「キーホルダーがゲットできてよかった」「鉋で木を削ったこと」「研ぎが楽しかった」「研ぎの際の独特な座り方、研ぎの際、刀の汚れがすぐ取れたこと」「刀の伝統」「使ったことがない道具を使えて楽しかった」「どれも楽しかった」「初めて本物の刀を触ったこと、先生方が優しく丁寧に、しかも楽しさだけでなく難しさも教えてくれた(お母さんの感想)」などの意見が寄せられ、筆者が全員にした「どの職人になりたいかな?」という問いかけには鞘師が僅差で一番人気となり、職人たちから修了証書が授与されてお開きとなりました。

■全日本刀匠会沿革

- 昭和50年4月4日 全日本刀匠会設立
 - 幹事長 宮入行平
- 昭和53年 理事長 月山貞一(幹事長を理事長と読み替える)
- 昭和59年 理事長 隅谷正峯
- 平成2年 理事長 天田昭次
- 平成7年 理事長 月山貞利
 - 設立20周年事業開催
- 平成14年 理事長を会長と読み替える
- 平成17年 設立30周年事業開催
 - 「第1回お守り刀展覧会」開催
- 平成18年 『写真で覚える日本刀の基礎知識』発刊
 - 事業運営のため法人設立(現:一般社団法人全日本刀匠事業部)
- 平成19年 「第2回お守り刀展覧会」を文化庁後援にて開催 以後継続
- 平成20年 会長 吉原國家
 - 美術刀剣作刀技術実地研修会開催 以後継続
- 平成22年 『写真で覚える日本刀の基礎知識II』発刊
 - 刀剣製作技術総合伝承事業開始 以後継続
- 平成24年 「エヴァンゲリオンと日本刀展」開催～巡回
 - 国際交流基金主催事業としてフランス・スペイン巡回
- 平成25年 「二次元vs日本刀展」開催～巡回
 - 会長 三上貞直
 - 備前長船刀剣博物館と共同しポーランド共和国にて市立、国立4博物館の収蔵品の調査実施
 - 「二次元vs日本刀展」から選抜作品をベトナム・ホーチミン市にて展示
 - 「刀匠会製炭保存会」を設立
 - 「第8回お守り刀展覧会」から文部科学大臣賞、駐日ポーランド共和国大使賞授与 以後現在まで続く
 - 「戦国無双の刀剣展」開催～巡回
 - 「刀匠会製炭保存会」を法人化、国選定保存技術団体認定を受ける(現:合同会社伝統工芸木炭生産技術保存会)
- 平成26年 設立40周年事業開催
 - 映画「バケモノの子」熊徹の太刀制作
 - 「真剣少女の日本刀展」開催
- 平成28年 「薄桜鬼刀剣録展」開催～巡回
- 平成29年 「大相撲と日本刀展」開催～巡回
 - 後継者育成として入門志望者向け講習会開始
- 令和元年 日刀保・刀文協と主催、文化庁協力にて「平成の名刀・名工展」開催
 - 「中華百剣名刀写し展」開催～巡回
- 令和4年 会長 宮入小左衛門行平
 - 日刀保と主催、文化庁後援にて企画展「令和の名刀・名工展」開催
- 令和5年 現代刀専門の提携店「ギャラリー東山堂」(京都市)開店に協力
- 令和6年 「大和守安定～壬生義士伝から広がる世界展」開催～巡回
- 令和7年 「アズールレーン」の白龍をイメージして刀制作 設立50周年事業開催



何もないんじゃない

石井理子

筆者は奈良県在住

吉野山が大好きだ。年に六、七回は行く。

吉野山といえは、「一目千本」といわれる桜。つまり、一目で千本の桜が目飛び込んでくるような風景といふことだ。

かの西行も、吉野山の桜に寄せた和歌を幾つも詠んでる。

吉野山 こそ糸の花を見し日より 心は身にも そはずなりにき

(吉野山に咲く桜の美しさを見た日から、桜に憧れる我が心は気もそぞろになつてしまった)

西行法師まで引き合いに出したところの「へんこ」、偏屈者なのだろうか。

桜の時期には行かない。人混みが嫌い。

確かに「一目千本」は見事だ。しかし、ふと思いついて、近所の公園で缶ビールを片手にボンヤリと散りゆく桜を眺める方が気楽なのだ。

その後の葉桜の時期、人混みに

なにも……。 疲れたような桜と、やれやれという空気を味わいたくなる。

そして、行きつけの蕎麦屋「矢的庵」に、「桜も終わりましたね。忙しかったでしょう」と訪う。

祭りの後のような静けさ、いつもの賑やかな金峯山寺、閉まった土産物屋……。

「桜の無い吉野山に行つてどうすんの? 何もないのにな」と言われる。

言わせておけばいい。

「何もないようなもの」が好きなのだ。

何もないんじゃない。

何もないものはなく。

自分が感じるから「ある」のだ。



金峯山寺



研磨の構えに挑戦!

大阪から来られた方も。 作品を伝えてきた先人たちに敬意を払い大事に扱うこと、刀剣は想像より繊細なものであること、鑑賞時

そして、私は相も変わらず、夏も秋も冬も、吉野山をのたりのたりと歩いている。

待ち時間の記念撮影には、怪我をしないように刃を落とした刀を用意しました。すると、親御さんともども、初めて手に持つ日本刀の重量感に感嘆の声を上げていました。

午後には講演と鑑賞会「日本刀の鑑賞法、国広一門の作品群を持つてみよう」を当組合理事の飯田慶雄が担当、国広他一門の作品八振を用意し、百名の参加者に実際に本物の日本刀を手にとって鑑賞していただきました。

百人の枠に三百人を超える申し込みが殺到し、事前に抽選となりました。参加者は九割が女性、最も多かったのは三十歳代で平均年齢は三九・六歳、地元栃木県以外では関東近辺、ほかに北海道や奈良、大阪から来られた方も。

質問を受け付けたところ、皆さんとても熱心で、二時間もの質問が途切れることはなく、十五分延長してもなお多くの方が名残惜しそくに刀剣を眺めていたのが印象的でした。

鑑賞刀は以下の通り。

刀国広/脇指国次/脇指国安 /脇指阿波守在吉/刀大隅尉正弘/日州住/脇指城州住国時/南紀造之寛永四年正月/刀河内守藤原国助/脇指堀川住吉貞(飯田慶雄)

刀剣・書画・骨董

和敬堂

土肥豊久・土肥富康

〒940-0088 新潟県長岡市柏町1-2-16
TEL 0258-33-8510
FAX 0258-33-8511

<http://wakeidou.com/>

イベント・レポート

足利市立美術館「山姥切国広展名匠の軌跡、名刀の誕生国広、本作長義と出逢う。」ワークショップと鑑賞会に参加希望が殺到



100人が参加した国広一門作品の鑑賞会

刀剣業界の情報紙である『刀剣界』では、記事を募集しています。ニュースや催事情報、イベント・レポート、ブック・レビュー、随筆・意見・感想など、何でも結構です。写真も添えてください。組合員・賛助会員以外の方も歓迎です。ただし、採否は編集委員会に諮り、紙面の関係で編集させていただきます。

「登録証問題」を考える 34

事例 48

初期の登録証の記載内容の不備と柔軟かつ適切な対応

埼玉県

以前、本欄で、静岡県の教育委員会が発行した記載ミスのある登録証にまつわる出来事を書いた。現物は「加藤藤原住家吉作」とありながら、昭和四十一年の静岡県登録審査委員が「加藤」と記した登録証が交付されていたのだ。些細なミスではあり、この通りに名義変更の届けを出せば、受理されることは間違いない。だが、外国人が購入して輸出する時、現物と登録証の記載内容が異なると大変である。古美術品輸出鑑査証明を出す文化庁の調査指導係が、違いを取り上げて問題にするからである。

そんなところでも面倒なので、ひとまず静岡県の銃砲刀剣類登録担当者に電話で相談したら、登録証のコピーと現物の茎の写真を精査した上で、静岡県は記載ミスを認め、もし外国人が購入した場合、輸出鑑査証明が取れるように、静岡県から文化庁に連絡すると言ってくれた。実に穏便で、建設的な対応であった。

さて、その後、今度は埼玉県で同じような経験をした。若狭大塚藤原冬広の年記作の脇指である。昭和二十六年初年度登録であった。静岡県のケースと同じで、全く偽真はない。

だが、裏年紀が「正徳六年二月吉日」であるのに、登録証には「正徳六年二月」としか書かれていない。「うわ、またか」である。この脇指は以前、某氏にお買い上げいただき、その際には、登録

証通りに提出すれば名義変更はできるだろうし、初年度の登録証は貴重だから直したくない、というのがその希望であった。だが、数年後、下取りで返ってきた。

それで再度、展示し、ごなたにもお買い上げいただけるようにしていたのだが、朱漆塗りの素敵な外装も付いているし、外国人が買いたいのだなあ、そうしたらまた問題になるなあ、と思った。でもこんな良い登録証はそのまましておきたいよなあ、でもどうしようかなあ……。迷った末に、埼玉県に電話をした。

電話では、昭和二十六年初年度の登録証は貴重なので手を加えない、しかし、外国人が購入したら大変だし、困っていますと率直に伝えた。すると、「登録証のコピーを送ってください」と言う。どうせまた、現物確認かなあ。面倒だし、嫌だなあ。どうしようかなあ」と思いながら送付して待つていたら、連絡が来た。

「偽真はないようです。しかし、輸出の際には確かに問題になるかもしれません。この登録証のことは私どもで覚えを書いておきます。輸出の際に文化庁から問い合わせがございましたら、記載ミスはあるものの、輸出する刀剣の登録証であることを伝えます」というような回答だった。

「本年度に限りますよ」という条件付きではあったが、とても柔軟で現実的な対応だと思った。

その後、程なくして、突然来店したアメリカ人が、その冬広をとても気に入って買い上げたいと頼まれた。予期していた出来事が起こったわけだ。そして埼玉県が「そんな約束は知りません」と言うんじゃないかと心配しながら、輸出

鑑査証明の申請をして待つこと十日、証明が送付されてきて、若狭大塚冬広は何事もなかったかのようになり、日本から旅立って行った。静岡県といい、埼玉県といい、とても良い対応をしてくださったと深く感謝している。彼らの立場に立てば、何ら問題はなく、むしろ初期の登録審査業務のミス（彼らの先輩のミス）で、全く落ち度のない人が迷惑していること、そして手間と時間をかけて現物確認をして訂正再交付し（〇円）で、すぐに輸出して登録証の返還……。全く不毛と思ったのだ。

今はデジタルデータをメールでやりとりできる便利な時代なのである。そんなと、あとは現場。担当者の経験（こういうケースもあるのだという認識）、思いやり（わざわざ連絡してきた善意の人

法令講習会を受講して

(登録証問題研究会)

毎年行われる登録証講習会が今年も開催され、参加した。言うまでもなく公安委員会から古美術商許可証を受けた法人・個人、そして交換会市場の市場主を対象に、各警察署が行う講習会である。東京都は十方面九十六署が協力し、東京美術倶楽部近くにある愛宕署では、近隣の信用金庫のホールにてこの二月に開催された。法改正がある時もあり、出席の重要性を感じる。

まず担当課長より挨拶とともに、件数も被害額も増加しつつある電話・メール等による詐欺事件の紹介と警鐘があった。近年は国際電話が利用されたり、警官、特に遠方の警察署を名乗り対応を迫る詐欺が増えており、実例も紹介し、時間を割いて注意があった。

次に生活安全課係官より、相手先確認時の「マイナンバー」は内容のみで番号は残さない「面前提入」法人取引時は担当者情報付記などが特に注意確認として述べられた。また、ネット取引時など非対面取引時は、免許証以外にも確認資料が必要である。近年の取引状況に即したポイントなのだろう。登録証では法人許可証の場合、代表者はもちろん役員の変更時にも届け出が必要と加えられた。

一般社団法人東京古物商防犯連盟の紹介もあり、ホール満員の参加者が聞き入った。こちらの加入も必要であろう。古物商の新規登録数は、昨年約六千件、一昨年の三千件から倍増と聞く。正しい知識と真摯な実行が、業界の地位向上につながると思う。

(伊波賢一)

甲冑の話 23

(社)日本甲冑武具研究保存会

甲冑の銘について

今回は、甲冑の銘についてご紹介させていただきます。日本刀と同様、日本甲冑にも銘のある品物が数多くあります。日本刀の場合は茎に鐫りますが、甲冑の場合は、鉄地各部品のさまざま場所に鐫られます。また、漆書や墨書とする場合もあります。銘の内容は「常州住吉女家成」のような作者銘、「天保十年三月吉日」の紀年銘を中心に、さまざまです。

では、銘を鐫る部位について、ご説明します。

- 兜
筋兜や星兜など、鉄板を数枚知いで作られる兜鉢の場合、最も多いのが鉢の裏、前正中板と後正中板です。兜鉢を裏から見た際、兜の真正面と背面中央に当たる短板

に刻まれ、作者銘と年紀を前後に分けて鐫る場合もあれば、作者銘のみを前、もしくは後ろに鐫る場合もあります。また、腰巻板という鉢の裾に巡らせる板に切る場合もあります。

- 筋兜以外、頭形兜や変り兜等にも銘を鐫った遺品があります。受張という頭を受ける布が張られている場合でも、「銘見の穴」と呼ばれる穴が開いていれば、それを通して銘を見ることが出来ます。まれに筒札板の裏や前立などにも銘がある場合があります。
- 面具
目の下頬や半頬等の面頬表もしくは裏、また顎下の表もしくは裏に刻まれます。
- 胴
中世の胴丸・腹巻等に銘が残ることはまずありません。当世具足

など、近世の胴甲に刻まれることがあり、その場合は胴の表の両脇、あるいは胴の内側(裏)に鐫られる場合がほとんどです。内側は革や布が貼られていることが多いため、その下に銘が隠れている場合はX線や赤外線撮影で確認することが出来ます。

新作日本刀証明証の活用について

公益財団法人日本刀文化振興協会(大野義光理事長)では、現代刀工が製作した刀の正真性を保証するため、令和三年六月より「新作日本刀証明証(以下「証明証」)を発行しています。

証明証が発行された現代刀については、適正な手続きに基づき、古美術品に該当しないことが併せて証明されます。このため、日本刀を含む古美術品を海外に輸出する際に文化庁が発行する「古美術品輸出鑑査証明」に代わり、この証明証を活用できることが、文化庁を通じて税関など関係機関に確認されました。

税関での手続きにおいては、「税関提出用第二様式」を活用することで、古美術品輸出鑑査証明を提出する手間を省けます。また、古美術品輸出鑑査証明の有効期限は一年ですが、税関

提出用第二様式には特に有効期限がありません。すなわち輸出の可能性がある場合、事前に用意しておけば、あらためて申請する必要がなく、即時、輸出可能となります。

令和七年四月以降に発行される当協会の証明証では、申請者の希望に応じて税関提出用第二様式を無料発行します。これまでに発行された新作日本刀証明証については、税関提出用第二様式を別途申請いただく必要があるのですが、該当する証明証を当協会事務局まで郵送してください。追って税関提出用第二様式を発行し、証明証とともに返送します。



税関提出用第二様式 サンプル

なお、これらの措置は、新作日本刀証明証が刀工本人の確認を経て発行された現代刀に限り適用されます。明治以降に製作された刀すべてが対象ではないこと十分留意ください。

新作日本刀証明証および税関提出用第二様式の発行は、文化庁ではなく、公益財団法人日本刀文化振興協会が行っています。発行手続きの詳細については、文化庁ではなく、左記までお問い合わせください。メールなどでの問い合わせの際「証明証に関する件」などのタイトルを明記願います。

問い合わせ先 公益財団法人日本刀文化振興協会事務局 〒105-0004 東京都北区赤羽南二一四一七 鷹匠ハイツ三〇一号 ☎03-3524-9144 ○tbc@nbsk.jp.org

「現代刀職展」作刀の部、 受賞作決まる

公益財団法人日本美術刀剣保存協会（酒井忠久会長）では去る4月10日、2025年度「現代刀職展」作刀の部審査会を開催し、受賞作等を決定した。

同展研磨・刀身彫・彫金・白鞘・刀装・柄前白銀の部は6月2～4日に出品を受け付け、その後、審査が行われる。

両部門を併せた「現代刀剣展」は8月2日（土）～10月13日（月・祝）、東京・両国の刀剣博物館において開催される。

2025年度現代刀職展 作刀の部 無鑑査出品および審査結果一覧

部門	氏名	賞
作刀の部	月山 清	無鑑査出品
	上林 勇二	無鑑査出品
	河内 道雄	無鑑査出品
	吉川 三男	無鑑査出品
	宮入 法廣	無鑑査出品
	松田 周二	無鑑査出品
	久保 善博	無鑑査出品
	高見 一良	無鑑査出品
	木村 光宏	高松宮記念賞
	森國 利文	薫山賞
太刀・刀・脇指・薙刀・槍の部	小宮 治氣	寒山賞
	金田 達吉	日本美術刀剣保存協会会長賞一席
	高橋 祐哉	日本美術刀剣保存協会会長賞二席
	富岡慶一郎	優秀賞一席
	月山 一郎	優秀賞二席
	ジョン・ロイトヴィラー	努力賞一席・新人賞
	曾根 寛	努力賞二席
	赤松 伸咲	努力賞三席
	森 光秀	努力賞四席
	小宮早陽光	努力賞五席
	吉田 政也	入選一席
	安藤 祐介	入選二席
	北川 哲士	入選三席
	加藤 政也	入選四席
	平 泰明	入選五席
	宮城 朋幸	入選六席
	川島 一城	入選七席
	小宮安氣光	入選八席
	田中 論	入選九席
	藤村 恵當	入選十席
	菊地 伸拓	入選（以下五十音順）
	栗谷 文治	入選
	小池 邦宏	入選
	新名 公明	入選
	松田 周平	入選
宮下 輝	入選	
短刀・劍の部	木村 光宏	薫山賞
	高橋 祐哉	寒山賞
	加藤 政也	日本美術刀剣保存協会会長賞
	金田 達吉	優秀賞
	渡辺 徹	努力賞一席
	松川 隆	努力賞二席
	安藤 祐介	努力賞三席
	小宮 治氣	入選一席
	森 光秀	入選二席
	吉田 政也	入選三席
伊藤 重光	入選四席	
藤村 恵當	入選五席	
小池 邦宏	入選六席	

インフォメーション

幕末史研究会例会
講演：幕末の大砲とは――高島秋帆使用の大砲と復元砲を製作した経験談など
内容：文化五年（一八〇八）、英国のフェリントン号が長崎港に侵入し、オランダ人二人を人質にしてオランダ商館の引き渡しを要求した「フェリントン号事件」。当時の和流大砲の原寸大の図面と天保三年（一八三二）に高島秋帆がオランダから輸入したモルチール砲を写しと写真で比較。秋帆が幕命によって、天保十二年に徳丸原（板橋区）で西洋砲術の訓練を行った際に使用した各種の大砲について。天保十五年銘の川口宿務物師の大砲（現存）を例として、当時の製造技術。嘉永六年（一八五三）ペリが奇襲したポント砲を復元製作した際のエピソードや、江川太郎左衛門らが認識した蘭式カノン砲・ホイッスル砲・カルロン砲、白砲など。土佐藩が浜川砲台（品川区）に据えたホイッスル砲の復元製作の経験談など。
講師：峯田元治（日本銃砲史学会理事）
開催日：五月二十四日（土）午後二～四時
会場：新宿歴史博物館 新宿区四谷三栄町二二一六
会費：一五〇〇円
詳細と申し込みは <https://bakumatsushin.blog.fc2.com/>
日本銃砲史学会例会
研究発表演題：
江戸の銃砲―火繩銃研究の現状 峯田元治
界鉄砲鍛冶之辻左衛門邦孝の銃について 安井淳治・小西雅徳
戊辰・市川・船橋戦争を歩く 千代義起
開催日：六月十四日（土）午後一～四時半
会場：早稲田大学各務記念材料技術研究所講義室 新宿区西早稲田二一八二二六
会費：五〇〇円
詳細と申し込みは <https://nihonjyuhoushigakkaikai.com/>
今後の行事予定：
九月十三日（土） 九月例会
十二月地方例会（愛知県新城市）参加希望者募集の上、参加者人数決定
令和八年三月十六日（土） 三月例会

ブック・レビュー BOOK REVIEW

鎌倉武士のロマンは後世に通ず

『吾妻鏡』の時代

関幸彦 編／伊藤一美・岡田清一・川島優美子・菊池伸一・久保田和彦・小島つとむ・小林健彦・酒入陽子・下山忍・高橋秀樹 著
価格二二〇〇円（税込） 吉川弘文館

『吾妻鏡』の時代」なる本を編集委員会から預かって読んでみましたが、いや、とっても難しいんでビックリしました。

鎌倉幕府の「十三人」の一人だった八田知家のことや、鎌倉甘縄がどの地域なのか、名前だけは知っているけど、「奥州合戦と『吾妻鏡』」も畠山重忠の話が出てきて、虚実ない交ぜ、御家人というものが最も輝いていた時代の投影だったり、どれを読んでも難解ですが、何となくわかった気にさせてくれたのは『吾妻鏡』を求めた戦国武将たちです。

『吾妻鏡』は、慶長十年（一六〇五）に徳川家康によって「伏見版」という書籍として刊行された。

その後、この伏見版の原書が北条本であるとかないとか、吉川本・島津本・毛利本もあるとかないとかいろいろ書かれ、最終的には江戸時代になって初めて『吾妻鏡』に武将たちは、武家の手本・模範にしようとしていた。つまり、『吾妻鏡』という有名な古書は、江戸時代初期に徳川家康が刊行し、それが武士の世界に広まり、江戸時代後期には歌舞伎の題材にもなっている。すなわち、庶民層にまで影響を及ぼすようになっていった。

小生は恥ずかしながら、このことは全然知りませんでした。鎌倉時代の刀を扱ったこともあるし、大河ドラマ「奥州合戦と『吾妻鏡』」にも出てくる畠山重忠は、『吾妻鏡』の中ではヒーローとして描かれています。バイアスがかかっています。小島さんの書かれる重忠像は素晴らしい。

「奥州合戦と『吾妻鏡』」にも出てくる畠山重忠は、『吾妻鏡』の中ではヒーローとして描かれています。バイアスがかかっています。小島さんの書かれる重忠像は素晴らしい。

「奥州合戦と『吾妻鏡』」にも出てくる畠山重忠は、『吾妻鏡』の中ではヒーローとして描かれています。バイアスがかかっています。小島さんの書かれる重忠像は素晴らしい。

「この太刀は反りが高く、鋒は小さい。古拙で、しかも凛然として美しい姿である。地鉄は木材の断面のような模様と木の切り口のような模様が組み合わされた風で、黒く透き通った肌を交えて陰影がある。刃文はまっすぐな刃を基調にゆったりと波打つような刃、小模様に変化する刃を交え、鷹揚で自然味がある。そして焼き入れの際に生じた鋼の結晶が光を反射して美しく輝き、焼刃は青みを帯びてさえ、切れ味の良さも十分に想像される。神妙な鑑使いで刻された正恒の二字銘には雅味があり、正恒の繊細にして大胆な人間性的一端をも窺わせている。」

「この太刀は反りが高く、鋒は小さい。古拙で、しかも凛然として美しい姿である。地鉄は木材の断面のような模様と木の切り口のような模様が組み合わされた風で、黒く透き通った肌を交えて陰影がある。刃文はまっすぐな刃を基調にゆったりと波打つような刃、小模様に変化する刃を交え、鷹揚で自然味がある。そして焼き入れの際に生じた鋼の結晶が光を反射して美しく輝き、焼刃は青みを帯びてさえ、切れ味の良さも十分に想像される。神妙な鑑使いで刻された正恒の二字銘には雅味があり、正恒の繊細にして大胆な人間性的一端をも窺わせている。」

「この太刀は反りが高く、鋒は小さい。古拙で、しかも凛然として美しい姿である。地鉄は木材の断面のような模様と木の切り口のような模様が組み合わされた風で、黒く透き通った肌を交えて陰影がある。刃文はまっすぐな刃を基調にゆったりと波打つような刃、小模様に変化する刃を交え、鷹揚で自然味がある。そして焼き入れの際に生じた鋼の結晶が光を反射して美しく輝き、焼刃は青みを帯びてさえ、切れ味の良さも十分に想像される。神妙な鑑使いで刻された正恒の二字銘には雅味があり、正恒の繊細にして大胆な人間性的一端をも窺わせている。」

中高生が関市で刀の歴史と技術を学ぶ

NEWS & TOPICS

学校法人角川ドワンゴ学園N高等学校 S 高等学校、N中等部は、二月十日から十三日までの四日間、岐阜県関市にて、職業体験「刀鍛冶職人体験2025 in 岐阜県関市」を実施した。当学園で実施している刀鍛冶の職業体験プログラムは、一六年度の開始以来、今回で七回目。

関市は七百年以上の歴史を誇る刀都として知られる。また、刀鍛冶の技術は高度な技能と長い年月をかけて受け継がれてきた、日本が誇る貴重な文化遺産の一つ。本プログラムでは、現役の刀鍛冶の指導を受けながら、生徒たちが小刀の製作を体験した。炭切り、玉へし、積み沸かしなど、伝統的な工程を一つ一つ体験し、日本刀の歴史や製作工程、そして鍛錬の奥深さを学んだ。

三泊四日の宿泊型体験学習プログラムを通じて、日本の伝統工芸の技術に触れるとともに、それを守り続けることの重要性について学ぶことを目指したという。



向こう鉤を体験し、小刀作りに挑む

刀剣協会大阪支部が大阪万博で日本刀展を開催

一般社団法人日本美術刀剣保存協会大阪支部は、戦後間もなく刀剣愛好家の団体として設立された八十周年を迎えるに当たり、その記念事業として大阪・関西万博EXPO2025において「日本刀展」(THE SAMURAI SWORD)を企画し、四月二十一～二十五日に開催、会場となったギャラリー EASTには連日、国内外の観客が詰めかけ、盛況となった。

日本刀展には、鎌倉時代の作品から現代刀まで、支部会員所蔵の愛刀など約三十振が展示され、ほかに刀匠による銘切りの実演、(株)ニトロプラスとのコラボレーション、パネル展示などが行われた。刀剣文化を世界に発信するとともに、来場者が多彩な日本刀の美しさを、伝統的な刀剣文化と出会う絶好の機会となった。



日本刀展

■石上神宮

〒632-0014 奈良県天理市布留町384 ☎0743-62-0900
https://www.isonokami.jp/

神剣フツノミタマ顕現150周年記念 特別展「石上神宮と御剣」

当神宮は日本最古の神社の一つで、武門の棟梁たる物部氏の総氏神として古代信仰の中でも特に異彩を放ち、健康長寿・病氣平癒・除災招福・百事成就の守護神として長年信仰されてきました。

大和国を造られた神武天皇を窮地から救った神剣師霊フツノミタマ、素戔鳴尊が八岐大蛇を退治した天十握剣アメノツツカノツルギの二振、また日本武尊に降りかかった災いを薙ぎ払った草薙剣クサナギノツルギという神話に名高い剣の神をお祀りするとともに、唯一無二の意匠で有名な国宝七支刀を所蔵しています。日本三霊剣の二振を所蔵することから、古代より刀剣との縁はどの神社よりも深いと言っても過言ではありません。

今回展示する当神宮所蔵の七支刀を鋳造復元した「復元 七支刀」(河内國平作)や、長きにわたり歴史を刻んできた奈良県指定文化財「太刀 銘 義憲作」号 小狐丸)は大変貴重な刀となります。また、2021年に人気オンラインゲーム「刀剣乱舞 ONLINE」による剣奉納プロジェクト『はじまりのうた はじまりの剣』で、刀匠 宮入法廣氏により作刀された三振の剣のうち、当神宮に奉納された「奉納の剣 銘・人 天長地久」と、(株)ニトロプラス社が所蔵する「陽の剣 銘 天」「陰の剣 銘 地」も展示いたします。奉納以来、三振揃っての展示は初めてとなります。

この御祭神と歴史、信仰、刀剣との関係性を神剣フツノミタマ顕現150周年の好機にあらためて発信することで、より多くの方々にご参拝いただき、日本の刀剣文化の奥深さに触れる機会を創り、併せて刀剣に興味関心が高い方々の参拝も叶えられればと思っております。

会期：5月14日(水)～5月20日(火)



■備前長船刀剣博物館

〒701-4271 岡山県瀬戸内市長船町長船966 ☎0869-66-7767
https://www.city.setouchi.lg.jp/site/token/

テーマ展「つながる一赤羽刀にみる刀剣の軌跡」

太平洋戦争での敗戦後、武装解除の一環でGHQに接収された日本刀の一部は文化財として返却され、全国の公立博物館等に無償譲渡されました。

このテーマ展では、備前長船刀剣博物館で収蔵している日本刀の中で、美術的価値のある刀剣類の登録制度の契機となった赤羽刀を紹介します。

会期：4月26日(土)～7月13日(日)

■柏原美術館

〒741-0081 山口県岩国市横山2-10-27 ☎0827-41-0506
https://kashiwabara-museum.jp/

特別展 相州伝

会期：4月11日(金)～8月31日(日)



インフォメーション

■(一社)日本甲冑武具研究会
☆甲冑武具審査会
次回の甲冑武具審査会は五月十一日(日)に開催する予定です。お申し込み期間は四月下旬、東京都内にて開催します。詳細は当会公式ウェブサイトで公表します。また二年四月～二年三月までの年間を通した開催日についても、ウェブサイトで公表します。
☆東京月例研究会
四月二十日(日)「編年プロジェクト・甲冑調査に関する報告」
☆東京月例研究会DVD販売
過去に開催した東京月例研究会の様子を収録したDVDを会員限定で販売しています。詳細は、
https://japanese-armor.or.jp/jpn/archives/7232
☆「甲冑武具重要文化財図録」
当会の甲冑武具審査会で最上級の等級「重要文化財」に認定された品物の画像と解説を収録した図録を販売しています。最新の六巻とバックナンバー1～5巻を併用。詳細は、
https://japanese-armor.or.jp/jpn/archives/10158

■逸翁美術館

〒563-0058 大阪府池田市栄本町12-27 ☎072-751-3865
https://www.hankyu-bunka.or.jp/itsuo-museum/

二次元刀剣物語～浮世絵をのぞいてみたら～

歌舞伎に登場するさまざまな刀剣を浮世絵で紹介し、

弁慶が背負う七つ道具や、人間が持てるサイズとは思えない大太刀や鉞は歌舞伎ならではの、また、歌舞伎の定番である御家騒動をテーマにした作品では、代々伝わる御宝が行方不明になり、責任を取って主君は切腹、御家は断絶、遺された若君や家臣が身分を隠して御宝を探し求める……といったストーリーがたくさんあります。その御宝の代表といえば宝刀、これが波瀾万丈の根元となるのです。

由緒正しき名刀から不思議な力で暴れまわる妖刀、はたまた名もなき刃まで、お芝居になくてはならない刀剣の物語を読み解いてみましょう。

会期：7月12日(土)～9月7日(日)



■徳川美術館

〒461-0023 愛知県名古屋市東区徳川町1017 ☎052-935-6262
https://www.tokugawa-art-museum.jp/

徳川美術館・蓬左文庫 開館90周年記念夏季特別展 「時をかける名刀」

武家にとって至上の宝であった名刀。武器として優れているだけでなく、戦乱の世に複数の天下人が所有した、あるいは喜ばしい人生の節目の贈り物になったなど、時代を経るごとに数々の輝かしい来歴が加わることにより、名刀の価値は一層高められていきました。こうして何百年もの間、多くの名刀が人の手から手へと受け継がれ、その格式にふさわしく仕立てられた華麗な刀装とともに現代まで守り伝えられています。

本展覧会では徳川美術館所蔵の刀剣・刀装を軸として、作品にまつわるさまざまな物語に注目しながら、名高い武将や大名ゆかりの名刀、また華々しい刀装を展示します。開館90周年を記念するに相応しく、国宝・重要文化財や名物を取り揃えた大規模な展覧会です。時代を超えてなお魅力の尽きない刀剣・刀装の奥深い世界を、歴史的背景と、作品そのものの美しさの両側面から紹介します。

会期：6月14日(土)～9月7日(日)

徳川美術館・足利市合同企画「伯仲燦然」 本作長義×山姥切国広同時公開

「本作長義」と「山姥切国広」は、本歌(本作長義)と写し(山姥切国広)双方が今日まで現存しつつ、ともに伯仲の出来として重要文化財に指定されている唯一の例ですが、並べて公開される機会はこれまでほとんどありませんでした。今回、足利市と合同で実施する企画「伯仲燦然」は、2振それぞれのすばらしさを比較して実感できる、名古屋では史上初の機会です。

会期：6月14日(土)～7月27日(日)



刀文協コンクールの受賞作決まる

公益財団法人日本刀文化振興協会(大野義光理事長)主催の第15回「新作日本刀 研磨 外装 刀職技術展覧会」の審査会が開催され、受賞作が次掲のように決定した。

展示は6月7日(土)～8月31日(日)、長野県の坂城町 鉄の展示館で行われる。その初日には授賞式・懇親会が開催される。なお、今秋には、令和4年に開催された「明治神宮宝物殿での展覧会」が15回展の後期展として3年ぶりに予定されている。

第15回 新作日本刀 研磨 外装 刀職技術展覧会 入賞・入選一覧

	作刀	刀身彫刻	研磨	刀装具	白銀	白鞘	柄巻き	鞘塗り	拵
文部科学大臣賞	上山 陽三								
経済産業大臣賞	上山 陽三								
観光庁長官賞			阿部聡一郎						
日本刀文化振興協会会長賞	宮入 陽		水田 吉政	川上 登					
特別賞	長野県知事賞 月山 一郎		信濃毎日新聞社賞 三浦 弘貴				坂城町長賞 遠山 和康		坂城町教育委員会教育長賞 平山 直弥
金賞第1席	明珍 裕介		國上 涼		松川 泰典	古川 和幸			
金賞第2席		木下 宗憲		松井 紀明		田澤 敦嗣	平山 直弥		
金賞第3席							井上 裕隆		
銀賞第1席	富岡慶一郎		藤川 二郎	渋谷 充輝	平田 実	大平 善之	貞 千春	小山 光秀	佐藤ひなの
銀賞第2席	吉田 政也			阪井 淳政					
銀賞第3席	宮田 剛志*1			クリストフ コップ					
銅賞第1席	森 光秀		相良 雄一	山口 正興			平井 重治		
銅賞第2席	森 充吾								
入選 (五十音順)	新名 公明		秋田 勇喜	岩城 聡正	岡村明日香	佐藤ひなの	氣賀澤祐子		
			金子 浩晃	ジェフ ブローデリック			黒田 勉		
							竹田 祐希		

※文部科学大臣賞……作刀・刀身彫刻、研磨、刀装(外装)の3部門ごとに審査し、各部門の首席の中から最も優れた作品に対し授与 ※1：新人賞

第9回「Sword Oshigata Art」部門授賞一覧

優秀賞第1席	三浦 弘貴	優秀賞第2席	下村 容子	優秀賞第3席	高橋 稔直	優秀賞第4席	吉野 弘美	佳作	フランチェスコ マリネッリ
--------	-------	--------	-------	--------	-------	--------	-------	----	---------------

催事情報

■古河歴史博物館

〒306-0033 茨城県古河市中央町3-10-56 ☎0280-22-5211
https://www.city.ibaraki-koga.lg.jp/soshiki/rekihaku/top.html

雪華の刀装—土井利位の愛刀と工人たち—

天保3年(1832)に出版された『雪華図説』は、古河城主で天保改革期に幕府老中を務めた土井利位(1789~1848)が20年以上の歳月を費やして観察・研究した成果で、8年後の続編とともに日本最初の雪の結晶観察図鑑として高い評価を得ています。同時に利位は、自ら観察した雪華に美を見出して工芸品に取り込み、江戸文化に新しい流行を生み出しました。利位の発信した雪華という意匠は、やがて江戸の庶民にまで受容されていきます。



土井利位が直接手がけた雪華ブランドの品々は、そのほとんどが関東大震災や太平洋戦争で被災し失われたものの、奇跡的に雪華模様をモチーフに製作された刀装具と大小の刀一式が、戦前に売り立てられて伝わりました。

古河の歴史・文化に深い関わりを持つこの文化遺産は、2024年3月に古河市の所有となりました。利位自らの監修により誕生したこの作品は、高い技術を有する名工が厳選されて完成した唯一無二の逸品とあって過言ではありません。

土井利位が魅了された雪華の世界、その意匠を高い技術力によって表現した工人たちの優品をご鑑賞くだされば幸いです。

会期：3月15日(土)~5月6日(火)

■岡山県立博物館

〒703-8257 岡山市北区後楽園1-5 ☎086-272-1149
https://www.pref.okayama.jp/site/kenhaku/

テーマ展「注文打ち~武将のために作られた刀~」

「注文打ち」は、主に武将やその家臣の注文に応じて作られた日本刀を指す言葉で、現代のオーダーメイドに相当します。大量生産品と異なり、より優れた技術や材料をもって一口ずつ念入りに鍛えられた注文打ちは、武将たちにとっても刀工たちにとっても、特別なものでした。



戦国時代の岡山でも、勝光・清光・祐定などの長船鍛冶を中心に注文打ちが製作されました。そしてその茎には、刀工の名前と併せて、注文主である浦上氏や宇喜多氏の名前が刻まれました。

本展では、長船鍛冶の注文打ちを展示するとともに、注文主であった戦国武将について取り上げ、刀鍛冶と戦国武将とのつながりをご紹介します。

会期：3月20日(休・祝)~5月6日(火・休)

■名古屋刀剣博物館 名古屋刀剣ワールド

〒460-0008 愛知県名古屋市中区栄3-35-43
https://www.meihaku.jp/

特別展「天下三名槍」

名古屋刀剣博物館の北館4階展示室では、期間中、特別展「天下三名槍」を開催。天下に名高く美しい3本の槍「日本号」「御手杵」「蜻蛉切」の写しを展示。同じ刀工が作刀し、揃えて所蔵・展示することはこれまではなく、一堂に会して観ることができるのは名古屋刀剣博物館だけ。上林恒平刀匠が手掛けた三名槍についてをご紹介します。



会期：3月22日(土)~6月1日(日)

■大阪市立美術館

〒543-0063 大阪市天王寺区茶臼山町1-82 ☎06-6771-4874
https://www.osaka-art-museum.jp/

大阪・関西万博開催記念 大阪市立美術館リニューアル記念特別展/日本国宝展

昭和45年(1970)以来、大阪の地で2度目となる国際博覧会が開かれるこの年、大阪市立美術館は昭和11年の開館後初めて、2年以上に及ぶ全面改修を経て、リニューアルオープンを迎えます。



本展はこの2つの記念すべき事業に合わせて企画され、「国宝」という類い稀なる宝とく出会い、感動を共有することで、国や地域を超え日本文化への理解を深める契機となることを目指しています。本展はおよそ130件もの国宝が一堂に集まります(参考出品を除く)。

生み出された時代を表す鏡でもある美術工芸品、そしてその頂点とも言うべき国宝を通じて日本の美の歴史を辿る、稀有にして贅沢な機会となることでしょう。

また、リニューアルオープンと万博の開催が重なるまたとない機会に、初めて大阪で開かれる国宝展であることから、大阪ゆかりの国宝もまとめてご紹介します。

すべて最初から国宝だったのではなく、何百年あるいは何千年もの時を越えて奇跡的に今に伝わり、国の至宝となったものばかりです。この奇跡を可能にした、守り伝えていこうとする人々の熱い思いとたゆまぬ努力を継ぐべく、文化財を未来へ伝えていくことの意義についてもご紹介します。

会期：4月26日(土)~6月15日(日)

会場によって休館日が異なります。事前に確認の上、お出かけください。現下の状況で入場制限や、観覧するには予約を必要とする場合もありますので、それぞれのホームページをご覧ください。

■茨城県立歴史館

〒310-0034 茨城県水戸市緑町2-1-15 ☎029-225-4425
https://rekishikan-ibk.jp/

企画・特別展「常陸平氏—将門・清盛につながる一族—」

延暦13年(794)に平安京を開いた桓武天皇には多くの皇子がいました。次の天皇になれるのはそのうち一系統のみ。他の系統は皇族から離れて平氏を名乗り地方に活路を見出しました。

桓武平氏のうち、常陸に拠点を置いたのが常陸平氏です。本企画展では、佐竹氏・小田氏よりも早く、広く常陸を治めた常陸平氏の歴史を通観します。そして、常陸国内各地に分立する中で、それぞれの地域をつくっていった過程を見ながら、彼らを通して常陸の中世を捉えていきます。

会期：4月26日(土)~6月22日(日)



■三井記念美術館

〒103-0022 東京都中央区日本橋室町2-1-1 三井本館7階
ハローダイヤル：050-5541-8600 https://www.mitsui-museum.jp/

国宝の名刀と甲冑・武者絵

館藏品の中から、国宝の短刀2点「名物 日向正崇」と「名物 徳善院貞宗」をはじめ、重要文化財7点を含む刀剣、および時絵の拵などを一挙に公開いたします。また三井家の遠祖 三井高安所用の甲冑と、春日大社に伝来し火災で焼損した大鎧を近代に三浦助市が模造した甲冑、そして絵画では掛軸の武者絵のほか酒吞童子絵巻や十二類合戦絵巻など、どこか漫画チックな合戦絵巻も展示いたします。特集展示は、近代に製作された三井家伝来の五月人形ですが、まとめて公開するのは初めてのことで。

会期：4月12日(土)~6月15日(日)



■刀剣博物館

〒130-0015 東京都墨田区横網1-12-9 ☎03-6284-1000
https://www.touken.or.jp/museum/

日本刀 美の表現と薩摩金工の精髓

日本の歴史の中で日本刀は武器としてだけでなく、信仰の対象や権威の象徴ともなり、その過程で実用面にとどまることのない高い美術性を有する日本独特の工芸品へと昇華されました。

優美な曲線を描く刀身全体の「姿」、折り返し鍛錬によって生み出される独特な文様の「地鉄」、そしてさまざまな変化を見せる多種多様な「刃文」。これらの要素の美術性は実用性を前提としつつも各時代、各地域での刀工たちが創意工夫する中で高められてきました。そして現在、日本刀の鑑賞において、最も基本的かつ重要な要素となっています。本展では日本刀の持つ美しさをテーマに、「姿」「地鉄」「刃文」など各見どころからその神髄に迫ります。一千年の歴史の中で紡がれてきたさまざまな美の表現を、心ゆくまでご賞覧ください。

また、併せて特集陳列「薩摩金工の精髓」として、薩摩のお国拵と刀装具を取り上げます。薩摩の拵は同地の剣術流派である示現流のために考案されたもので、剛健な造りとなっています。刀装具は小田・知識の両派が江戸時代末期に至るまで薩摩の代表的な金工流派として栄え、それ以外にも多くの金工が活躍しました。実用性と装飾性を兼ね備えた薩摩の刀装・刀装具の魅力もお楽しみください。

会期：5月24日(土)~7月21日(月・祝)



■奈良国立博物館

〒630-8213 奈良市登大路町50 ☎050-5542-8600
https://www.narahaku.go.jp/

奈良国立博物館開館130年記念特別展 超国宝—祈りのかがやき—

奈良国立博物館(奈良博)は明治28年(1895)4月29日に開館(当時は帝国奈良博物館)して以来、令和7年(2025)をもって130周年を迎えます。これを記念し、この度、奈良国立博物館ではこれまでで最大規模となる国宝展を開催します。



その名も「超国宝—祈りのかがやき—」。神仏にまつわる祈りの造形にはそれらを生み出し、守り伝えてきた先人たちの深い思いが込められています。中でも「国宝」は私たちの歴史・文化を代表する国民の宝として広く知られています。「超国宝」という言葉には、そうしたびきり優れた宝という意味とともに、時代を超え先人たちから伝えられた祈りやこの国の文化を継承する人々の心もまた、かがやかない宝であるという思いを込めました。

この特別展では、奈良博や奈良の歴史に関わりの深い国宝を中心に、未来の国宝とも言うべき重要作品など、日本が世界に誇る名品の数々をご紹介します。国宝約110件、重要文化財約20件を含む約140件の仏教・神道美術を展示します。130年にわたる歴史を超え、国宝を生み出した先人たちの思いを超えて、文化の灯を次の時代につなぐため、奈良博が踏み出す新たな一歩をご覧ください。

会期：4月19日(土)~6月15日(日)